

7月6日  
9:30 昨日は疲れた、今は大丈夫。右下腿リンパ浮腫あり。  
16:30 今日はない。足楽なんや。うん。痛くない。動かしたら痛いけど今日はマシ。  
22:30 オムツ内泥状便あり。プルゼニド2錠  
7月7日  
8:30 膝の痛み少しマシ。天気悪いとズキズキする  
7月8日  
8:30 一緒。動くとき膝が痛くなる。  
15:00 体動時に疼痛  
7月9日  
6:00 足が痛いで動かんのや！  
13:30 便でたような感じもないし、行きたい感じもないし、温めたら楽。  
18:30 鍼灸治療9診目  
・・・。声掛けするもテレビをみている。  
治療中からウトウトと眠る。

脈診：脾滑

触診：下腿浮腫

☆治療部位

<毫鍼>右三陰交、右太溪

<円皮鍼>右内庭、右外内庭、右俠溪

7月10日  
10:00 痛いところはない。  
10:00 看護師の話ではトラマドール内服後痛み落ち着くよう。  
17:30 鍼灸治療10診目  
膝から下ぜんぶ痛い。うん。(今もですか?)…。  
治療後すぐに横になり、入眠。

脈診：腎無力

触診：右下腿浮腫

☆治療部位

<円皮鍼>右内庭、右外内庭、右俠溪、右太溪

7月11日  
6:00 起きようか?まだ早い。自分で下肢を下して座位になられている。  
15:00 膝から下がしびれとる。入院前は痛かったんやけど、今は重だるい。  
17:00 鍼灸治療中止  
7月12日  
9:30 お世話になりました。右膝の痛み軽度の訴え  
17:30 鍼灸治療11診目

足腫れているでしょ?痛いのは膝の下。

(しびれはどうですか?)ううん。痛いだけ。

脈診：脾渋、腎弦

触診：右下腿浮腫。

☆治療部位

<毫鍼>左足三里

<鍣鍼>湧泉、腎、脾経

<円皮鍼>右内庭、右外内庭、右俠溪

7月13日

ちょっと、立とうと思ってな…すて一んど。痛いところない。

もう、1人で動かんようにするわ。昼食後、立とうとされ転倒した様子。

7月14日

10:00 ホットパックにて膝痛軽減している。

17:00 痛くないよ。

21:00 本日排便なし

7月15日

10:00 足は痛い。足の甲や!

7月16日 退院

【評価ポイント】

- VAS、NRS 等による評価  
2診目：右肩痛に対して、鍼灸治療介入前はVAS=85mmであり、鍼灸治療直前ではVAS=54mm程度の痛みがあったが、治療直後VAS=37mmと軽減が認められた。  
3診日以降、夕方ではVAS=20mm程度と緩和が認められた。一人の時に強い痛みを訴えることから精神的な不安が悪化因子として関わっていたと考える。
- 患者コメント  
鍼灸治療1診目後：鍼してもらったから楽になった。  
鍼灸治療8診目：今日は、膝は楽なんや
- 家族コメント  
特記なし
- 医師・看護師・医療スタッフの印象  
膝痛の訴えはあったが、実際には軽減している様子を受ける。整腸は効果不明。

【総括】

痛みを訴えることが口癖のようになるが、どこがどう痛いのかという質問には首をかしげる行為が見られた。認知症も進行していたため、

患者本人からの痛みスケールによる評価は取れなかったが、治療前後では膝の屈伸運動時の苦痛表情が認められなかったこと、また、痛みが翌日に戻ってきても以前よりは軽減が認められていることから鍼灸治療は有効であったと考えられた。

便秘は服薬の影響もあり、一概に鍼灸のみで改善したわけではないが、その後症状が再発することがなかったことから、継続的治療によりテネスマス予防になっていたと考える。

20130008 (No. 58)

【患者】 43歳、男性

【既往歴】 腹壁、回腸漿膜下再燃

【病態】 虫垂癌 (ⅢA, T4)

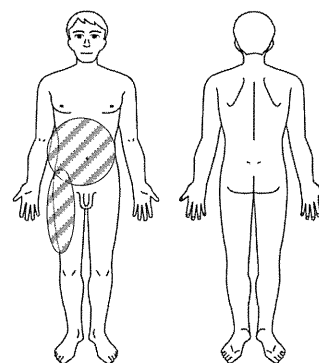
【ターミナル期】 ターミナル前期

【現病歴】

X-1年8月末に虫垂癌と診断。(ステージⅢ T4, S1)。摘出手術を行うも、腹壁、回腸漿膜下再燃となった。

近医病院にてカペシタビン 4200 mg/日 (2週1休) で行ったところ、副作用である下痢を起こしたため、1週で中止となった。

以後、本病院に転院となり、フォローしていくこととなる。12月からカペシタビンを行うも、2週間で中止。X年3月に右尿管腫瘍浸潤水腎症を発症。今回、状態が悪化したため入院となった。



【服薬状況】

オキサリプラチン+カペシタビン 4200mg/日 (2週1休) →下痢により中止。ゼローダ→2週間で中止。ロキソニンテープ (6月27日～)。

レスキュー：フェンタニル

【鍼灸治療目的】

フェンタニル使用するも、右足、腹部の痛みを訴えており、苦痛表情が常に見て取れていたため、看護師から鍼灸治療を薦めたところ、同意が得られたので依頼となった。

【東洋医学的所見】

右上腹部に強い痛みを訴え、仰向けができない。排便あるも症状緩和にはならない。脈診：数、腎虚、弦。足背浮腫、右章門圧痛、左公孫緊張、陥谷・外陥谷・地五会圧痕、左上巨虚緊張、胆経緊張 (R<L)

【弁証】 腎陽虚、気滞・血瘀

【鍼灸介入期間】 64日間

【鍼灸治療回数】 4回/週、37回

【転帰】 逝去

【鍼灸治療最終日～転帰】 2日間

【評価】評価説明するが理解が得られなかったため、医療スタッフによる印象評価をカルテから抜粋し、評価とした。

【鍼灸治療最終評価】

- 1)右大腿部痛：著効
- 2)腹痛（癌性腹膜炎）：著効

【治療経過】

6月24日

- 0：00 痛いかなあ。え？まだ1時間経ってないの？
- 10：00 右足が痛い。横になっていた。目が覚めるとトイレに行くっていう感じ。右大腿部擦り、痛み持続。俯いている。

レスキュー使用回数：12回

6月25日

- 15：30 トイレした後、椅子に座ると楽みたいです。背もたれあるし。温めるやつは、冷たくなると痛くなるみたいで、ぼいっとしとってです
- 17：30 鍼灸治療1診目  
ん〜この右のこの辺が痛いです（右上腹部）。  
（トイレに行ったら楽ですか？）  
変わりません。いつつつ。痛くて、仰向けできません。

脈診：数、腎虚、弦

触診：足背浮腫、右章門圧痛、左公孫緊張、左上巨虚緊張、  
陥谷・外陥谷・地五会圧痕、胆経緊張（R/L）

☆治療部位

<毫鍼>右内庭、左公孫、左陥谷、左外陥谷、左地五会、太衝

<留置鍼>右脾俞、太溪、左陥谷、左外陥谷、左地五会

レスキュー使用回数：2.0ml/h 8回、4.0ml/h 4回

（鍼灸治療後：2回）

6月26日

- 9：30 痛い、良くならん。昨日は眠れた方ではある立ったり座ったりするときに痛み強くなる
- 17：30 鍼灸治療2診目  
今日は足が…このこら辺が痛い。妻が内側というも、本人は大腿外側〜前面部をさする。

脈診：数、細、無力、やや弦

触診：下腿冷え、浮腫あり、右内庭・右外内庭・右侠溪圧痛

☆治療部位

<毫鍼>右脾俞、右内庭、右外内庭、侠溪

<留置鍼>右太溪、右内庭、右外内庭、右侠溪

レスキュー使用回数：2.0ml/h 11回、2.5ml/h 1回

6月27日

- 2：30 痛みに対し、ロキソニンテープ使用
- 8：00 右大腿シップで軽快
- 9：30 足は痛いけどお腹はマシ。夜はちょっと眠れた。  
鍼はよう分からん。
- 15：30 なんかお腹が痛い。（グミ食べて）
- 17：30 鍼灸治療3診目  
痛いところ、お腹と足がズキズキします表情穏やか。円皮鍼抜去の際、仰向けになるも苦痛表情なし。

脈診：脾弦、腎無力、細、数

触診：腎経軽度圧痛。足背〜足首まで冷えと浮腫。

☆治療部位

<毫鍼>右足三里、左太溪

<鍡鍼>陥谷、外陥谷、地五会、脾俞

<円皮鍼>陥谷、外陥谷、左地五会、左太溪

レスキュー使用回数：2.5ml/h 15回、（鍼灸治療後：5回）

6月28日

- 2：00 排便のため、トイレへ。移動後に右下肢痛あり。
- 16：00 家人に説明  
腸閉塞となり経口摂取が無理となりお身体の状態悪化です。
- 16：30 鍼？たぶん効いていると思う。ちょっと怖かったけど、もう少し、早くにお願いしたらよかったかな。チクツとするけど気持ちいい。足の痛みに特に効いていると思う。
- 17：30 鍼灸治療4診目  
痛みは、今は特にないです。

脈診：胃滑、腎弦、細、無力

舌診：暗淡白、胖大、嫩舌

触診：足背浮腫、冷えあり

☆治療部位

<毫鍼>右足三里、左太溪

<鍡鍼>右太溪、右陥谷、右外陥谷、右地五会

<円皮鍼>太溪、右陥谷、右外陥谷、右脾俞

レスキュー使用回数：フェンタニル 3ml 11回、（鍼灸治療後：3回）

6月29日

- 3：30 少し寝ました。足が少し痛くて・・・。
  - 7：00 足の付け根が痛い。今日は調子が悪いのかな。
  - 16：00 昨日、面談であったが、家族と鍼灸治療の話をしている。
- レスキュー使用回数：3.0ml/h 11回、3.5ml/h 6回、（17：00〜 6回）

6月30日

- 9：00 痛み止めをお願いします。今朝、トイレに行こうと思って立った時にふらつきました。

レスキュー使用回数：3.5ml/h 13回、(17:00以降 5回)

7月1日

9:30 【妻】昨日は何かしんどかったみたいです。足が床についてたし。【本人】うん。だるい感じ。足もお腹も痛い(NRS=5)

13:30 痛みが強く、夜間休めない。

21:00 排便時に鮮血便(日曜日から)

レスキュー使用回数：10回、(17:00～ 3回)

7月2日

10:30 うん。痛いなこの辺が。(NRS=7程度)臍周囲をさすりながら、言われる。レスキュー使用するも2~30分程度で痛みが戻る。

15:30 全然(レスキューが)効きません。

17:30 鍼灸治療5診目

今日はしんどい。お腹も足も痛い。

脈診：肝滑、胃無力、腎微弦

舌診：淡白、胖大、嫩舌、白膩苔、湿潤

触診：足背浮腫、右太溪圧痛、公孫緊張(R/L)、左内関深部緊張

☆治療部位

<毫鍼>左公孫、左内関、右太溪、左中封、左三陰交、左太衝

<円皮鍼>右陥谷、右外陥谷、右地五会、右太溪

レスキュー使用回数：17回 12回以降~4.5ml/h、(鍼灸治療後：6回)

7月3日

2:30 ……。【妻】出てないらしいです。

渋り腹の様な痛みがある。

8:30 痛いな……。【妻】鍼をしてもらっている間は楽そうでしたが、それもしばらくだけで。やっぱり日に日に痛み強くなっている様子です。

17:30 鍼灸治療6診目

痛いです。お腹全体が。

脈診：渋

触診：足三里緊張、左脾兪緊張圧痛、下腿浮腫

☆治療部位

<毫鍼>右足三里、左三陰交、左公孫

<円皮鍼>左脾兪

※治療中：「あ〜気持ちいい」

レスキュー使用回数：13回 11回以降~5.0ml/h、(鍼灸治療後 1回)

7月4日

0:00 便が出ない……

3:00 排便なく、排尿のみ

9:30 トイレよりコールあり。暗赤色便中等量あり。

14:30 NRS=4~5。早送り回数が増えているが、痛みの強さは低下。

16:30 鍼灸治療7診目

今日はそんなに痛くもないです。お腹は(NRS=)3、足は(NRS=)1~2。痛みが強い時は(NRS=)5まである。

脈診：脾弦、腎無力

☆治療部位

<毫鍼>左足三里、三陰交、右陥谷、右外陥谷

<鍡鍼>左中封、左太衝

<円皮鍼>左外関、三陰交、右陥谷、右外陥谷

レスキュー使用回数：5ml/h 11回、(鍼灸治療後：3回)

7月5日

9:00 排便ありました。真っ黒で水ではなく、塊です。

張りはかわらず。

17:30 鍼灸治療8診目

ガスができればいいけど。痛みは張りが辛い(NRS=)3。

脈診：腎無力、弦

☆治療部位

<毫鍼>三陰交、足三里、左太溪

<鍡鍼>行間、左公孫

<円皮鍼>行間、左太溪

レスキュー使用回数：フェンタニル2.5ml/h 6回、(鍼灸治療後：2回)

7月6日

7:00 便はないね。張ってる感じは続いているけど…血がちよつと出てることあるね。

18:30 ああ、よう寝てた。寝てたら大丈夫やけど…。

レスキュー使用回数：2.5ml/h 7回

7月7日

2:00 お腹張ってえらいです。【妻】便がもう丸一日出てません。ガスは出ているみたいです。

3:00 温めてちょっとマシになりましたけど、お腹が痛いです。(排ガスあり、便なし)

15:00 あれから出てないし、やっぱり張ってるのがしんどい(朝1、昼1少量排便あり)

レスキュー使用回数：2.5ml/h 7回

7月8日

10:30 よう寝てたわ。けど、起きるとやっぱりお腹張るし、痛みも感じる。

20:30 一応、報告しようと思って。黒いポツツとしたものがでた。昨日股から注射か何かしてもらって調子いいよな。。。

レスキュー使用回数：2.5ml/h 9回

7月9日

18:30 鍼灸治療9診目

今日は痛いというか、だるいというか、眠いというか…

脈診：洪、脾弦

触診：下腿浮腫、太溪深部硬結、足三里緊張、行間軟弱圧痛、  
三陰交深部緊張、右脾俞圧痛

☆治療部位

<毫鍼>足三里、右三陰交、左復溜、行間

<鍡鍼>大都

<円皮鍼>右脾俞、太溪、右太衝

※治療後：腹部の張り消失

18：40 昨日、今日で6階や売店まで行っています。症状は泥状が  
少し、嘔気なし

レスキュー使用回数：2.5ml/h 11回、(鍼灸治療後：4回)

7月10日

5：00 痛いんでお願いします。ああよく寝た。爆睡してました。  
5～6時間寝てたんかな？

15：00 今まではかなり早送りの回数多かったけど、この頃減った。

17：00 リハビリをしたい。歩きたい希望を話される。疼痛あるが、  
生活範囲拡大あり。

17：30 鍼灸治療 10 診目

昨日より楽ですけど、少し張っているよう。

脈診：脾弦、腎無力

触診：下腿浮腫

☆治療部位

<毫鍼>右足三里、内庭、外内庭、右三陰交、俠溪

<円皮鍼>陷谷、地五会

レスキュー使用回数：2.5ml/h 5回、(鍼灸治療後：2回)

7月11日

11：30～17：00 輸血施行

17：10 鍼灸治療 11 診目

輸血中のため、だるい

脈診：洪

触診：足背浮腫、足三里～上巨虚緊張

☆治療部位

<毫鍼>足三里、右三陰交、右太溪、左交信

<円皮鍼>左太溪

レスキュー使用回数：2.5ml/h 3回、(鍼灸治療後：2回)

7月12日

12：30 トイレ行くと痛み出てきます。前は便が出なくて寝てばかり  
だけど、今はトイレの回数が増えて、よく起きています。  
それが怠いです。

18：30 鍼灸治療 12 診目

だるいです。

脈診：肝・脾洪

触診：左胃俞表面緊張圧痛、左太衝軟弱、右外関緊張、右前腕浮腫

☆治療部位

<毫鍼>右足三里、内庭、外内庭、俠溪、右太溪

<円皮鍼>左胃俞、右陷谷、右外陷谷、右地五会、右外関

レスキュー使用回数：5回、(鍼灸治療後：2回)

7月13日

15：30 うん。昨日より今日はマシかな？昨日は輸血後でしんどか  
ったし。今日はシャンプーしとこうかな？冴えない表情で  
あるが、午前中より午後の方が表情よい。笑顔で話されたり、TV  
見ている。(NRS=3～5) レスキュー使用しているが、  
穏やかに生活している。

レスキュー使用回数：2.5ml/h 7回

7月14日

15：30 はあ、マシですね。でも痛みは急に出来ます。日中ベッドサ  
イドで足を組み、テレビ、新聞を見ている。仰臥位も取れ  
ている。腸蠕動痛か？デキササートの効果もみる。

レスキュー使用回数：2.5ml/h 7回

7月15日

10：00 外出より、何か味わいたい。痛み NRS=3

レスキュー使用回数：2.5ml/h 6回

7月16日

11：00 【妻】さっきゼリー半分食べました。全部は無理でしたけ  
ど。【本人】お腹すいたので食べました。美味しかったです。

12：30 お腹が空いてきて食欲がある。パンやうどんなど食べた。

17：00 鍼灸治療 13 診目

足の痛みほとんどなく、お腹の調子も良い。

腹部の痛み：NRS=3

足の痛み：NRS=1～2

脈診：脾・腎弦

触診：足背浮腫、左足三里緊張、太溪深部硬結

☆治療部位

<毫鍼>左足三里、右内関、左公孫、太溪

<円皮鍼>左陷谷、左外陷谷、左地五会、右脾俞

レスキュー使用回数：2.5ml/h 8回、(鍼灸治療後：3回)

7月17日

10：00 今日はおしっこだけ。便は出ていない。朝ゼリーを1個食  
べた。

16：30 鍼灸治療 14 診目

今はNRS=2～3くらい。ちょっと痛いかなってくらい。

以前トイレが3回だったのが最近は1回に。でもその分ゆ  
っくり眠れるようになりました。本日まで便もガスもない。

脈診：肝洪、脾腎微弦、細

舌診：淡白、胖大、嫩舌、瘀斑

触診：足背浮腫、深部冷えあり。足三里緊張、左三陰交深部緊張、  
太溪表面軟弱、陷谷・外陷谷・地五会軟弱（R/L）

☆治療部位

〈毫鍼〉左足三里、左三陰交、太溪、左太衝、左陷谷、左外陷谷、  
左地五会

〈円皮鍼〉右太溪、左三陰交、左陷谷、左外陷谷、左俠溪

16：30 本日は排便ないが、張った感じはありません

20：00 鍼は気持ちいいし、してもらってよかった。

レスキュー使用回数：2.5ml/h 7回、（鍼灸治療後3回）

7月18日

8：00 ご飯始まるから楽しみなんです。

14：30 味あるもの食べられてうれしい。調子よい。調子よいと外  
出や外泊もしたいなって欲が出てきます。

16：30 鍼灸治療 15 診目

今日は調子良いです。ゼリー食べてもムカつかないです。  
お腹動いたら以前は痛かったけど、今は痛くない。

脈診：腎弦

舌診：淡白、薄白苔、胖大、嫩舌

触診：左足三里緊張、右太溪表面軟弱深部緊張、  
右太溪軟弱、右脾俞緊張圧痛

☆治療部位

〈毫鍼〉左足三里、右外関、右太溪、左太白、右太衝

〈円皮鍼〉右脾俞

19：30 今日は調子いいです。朝1回だけ、レスキューした。

レスキュー使用回数：2.5ml/h 3回

（鍼灸治療後2回 予防的に）

7月19日

9：00 フェンタニル1日2セットが最大で継続している。

15：30 鍼灸治療 16 診目

深夜に排便あり。張りも痛みもない。

脈診：腎弦、肝虚

触診：足背浮腫、左足三里緊張、右外関緊張、太溪表面軟弱、  
左太衝発汗

☆治療部位

〈毫鍼〉左足三里太溪、左太衝、右外関

〈円皮鍼〉右脾俞、太溪

レスキュー使用回数 2.5ml 6回、（予防的に2回使用）

7月20日

8：30 おにぎりは硬くて、怖かったので食べていません。

レスキュー使用回数：2.5ml/h 5回、（17：00～2回）

7月21日

8：00 五分粥より三分粥がいい。今のところ大きな悪化はない。

12：00 レスキューしてもらおうかな？今は痛み1～2ぐらい。完全  
にゼロになることはないけど、最近痛みが少し楽になっ  
てきた。

21：00 下腹部の術創部から1～2mm程度の穴があり、便汁の様な  
ものあり。

レスキュー使用回数：2.5ml/h 9回、（17：00～2回）

7月22日

3：00 パウチ内に便汁あり。腹痛はあるが激痛というほどの苦痛  
表情はない。

17：30 ムンテラ：癌を治療できる状態でもなければ、手術など治  
療で改善できる状況でもない。

レスキュー使用回数：2.5ml/h 8回、（17：00～1回）

7月23日

11：00 なかなか眠りにくいです。痛みとか、気持ち悪さはそんな  
にないです。

17：30 鍼灸治療 17 診目

今日は調子いいですね…。

脈診：脾滑、肝腎無力

舌診：淡白、胖大、嫩舌

触診：右太衝緊張、太溪硬結圧痛、後溪緊張、右手浮腫

☆治療部位

〈毫鍼〉右太衝、太溪、左豊隆

〈鍡鍼〉後溪

〈円皮鍼〉行間、内庭、右外関

21：30 詰まったりしないかな？

【妻】気持ちがだいたい沈むみたいで、泣く回数も増えた

レスキュー使用回数：2.5ml/h 4回、（鍼灸治療後：1回）

7月24日

15：00 裂孔13×10mm。臍下部の正中創痕に位置。腸液あり。

16：00 ショックです。臍下に0.5×0.5mm、0.7×0.6mmの孔あり

16：30 鍼灸治療 18 診目

痛いところ…うーん、痛くないけど…ふふ。張った感じない。

脈診：脾滑、腎弦

舌診：淡白、胖大、嫩舌

触診：左上巨虚緊張、左太溪緊張硬結、左中封細絡、右公孫緊張、  
下腿冷え

☆治療部位

<毫鍼>左上巨虚、左太溪、左中封、右公孫

<e-Q>足三里、三陰交、太溪

17:00 家族から先に亡くなることで、輪からはじかれる疎外感。  
周りに迷惑や、臭いで嫌われていると不安といった状態。

レスキュー使用回数：2.5ml/h 5回、(鍼灸治療後：2回)

7月25日

7:30 今週は絶食で炎症の悪化も認めない。

17:30 鍼灸治療 19 診目

鍼は気持ちいい。

治療中時折笑みを浮かべるが弱々しい。

脈診：脾・腎無力、弦

☆治療部位

<毫鍼>左足三里、左太溪、行間

<円皮鍼>陥谷、外陥谷、右行間、左神門、右外関

レスキュー使用回数：6回、(鍼灸治療後 1回)

7月26日

9:00 今は痛みある。

16:00 妻だけでなく本人も入院中のストレスや妻に対して気を使っていることなど思いを言葉にする。しかし、涙を流すことも表情が暗くなることはない。

17:00 鍼灸治療 20 診目

【本人】鍼灸は…気持ちいい…【妻】寝とったでしょ？

【本人】うん。気持ちいいからウトウトしてしまう

脈診：腎無力

触診：左足三里表面緊張、豊隆緊張、右太衝表面緊張、右行間軟弱  
圧痛、左三陰交緊張

☆治療部位

<毫鍼>左三陰交、左太溪、右太衝、右公孫、左足三里、左豊隆

<円皮鍼>右行間、太溪

レスキュー使用回数：2.5mg/h 7回、(鍼灸治療後：2回)

7月27日

15:30 バウチの不安あるもペインコントロール良好。

穏やかに経過している。

レスキュー使用回数：2.5ml/h 5回、(17:00～ 1回)

7月28日

18:25 今日も1個モモを食べたんですよ。

レスキュー使用回数：2.5ml/h 7回

7月29日

3:17 足が酷く浮腫みだして、冷えてるのかな？鍼灸はしてもら  
うと楽なんです。気持ちよくて眠ってしまうくらい。

レスキュー使用回数：2.5ml/h 8回

7月30日

10:00 経口接種後に痛み増強したり、腹部膨満感なく経過する。

17:30 鍼灸治療 21 診目

足の浮腫みなんですけど、金曜に鍼灸してもらってマシにな  
ったのに土曜から月曜にかけて徐々に戻ってしまいます。

脈診：胃弦

排尿：昼2回、夜間1回

☆治療部位

<毫鍼>左公孫、太溪、膝関、右期門

<鍡鍼>八風穴、湧泉

<円皮鍼>八風穴、右脾俞

レスキュー使用回数：2.5ml/h 5回

7月31日

15:00 腹痛訴えるが早送り後に排便少量あり。

17:00 鍼灸治療 22 診目

あ、ちょうど、そろそろ鍼灸かなって話していたところで  
す。

足浴を寝る前にしてもらってるんですけど。足の冷たさは  
どうですか？(昨日よりいいですよ)よかった～。

脈診：脾・腎弦

☆治療部位

<毫鍼>左足三里、左三陰交、右太溪、陥谷、外陥谷、 地五会

レスキュー使用回数：2.5ml/h 5回

8月1日

17:30 鍼灸治療 23 診目

左浮腫軽減しているが、右は変化なし。

脈診：脾弦、腎微弦、肝無力

☆治療部位

<毫鍼>右太溪、膝関、八風穴、左足三里、三陰交

<鍡鍼>右外関

<円皮鍼>八風穴、右膝関

レスキュー使用回数：2.5ml/h 3回

8月2日

9:30 フェンタニルからフェントステープ 8mg

オキシコドン塩酸塩水和物散 10mg に変更

17:30 鍼灸治療 24 診目

また(足が)腫れてきたね

脈診：脾洪、腎弦

舌診：暗淡白、胖大、嫩舌、舌裏白

☆治療部位

<毫鍼>陥谷、外陥谷、地五会、左足三里、陰陵泉、右太溪、  
右足三里

<円皮鍼>右陥谷、右外陥谷、右太衝、右俠溪、右陰陵泉

レスキュー使用回数：2.5ml/h 0回

8月3日

14:30 昼食後に復痛あり

レスキュー使用回数：10mg×3回、20mg×2回

8月4日

4:30 こんな痛みなかったけど、頭の方まで痛くなった。4:30  
より腹部、両大腿部、腰、肩、頭にかけて痛みの増強あり。

レスキュー使用回数：10mg×2回、20mg×4回

8月5日 レスキュー使用回数：20mg×5回、30mg×1回

8月6日

17:30 鍼灸治療 25 診目

浮腫を気にされている

脈診：肝・腎無力、胃滑

☆治療部位

<毫鍼>左曲泉、左陰谷、左上巨虚、右八風穴、右外関

<円皮鍼>外関、三陰交

20:00 フェントステープ 10mg に増量

レスキュー使用回数：30mg×3回

8月7日

17:00 鍼灸治療 26 診目

点滴がなくなったから、浮腫みがマシになってきている。

スリッパも履きやすい。

脈診：脾洪、腎弦

☆治療部位

<毫鍼>曲泉、膝関、左三陰交、右八風穴

<円皮鍼>右脾俞、右太溪、

レスキュー使用回数：30mg×3回

8月8日

9:30 よかった事は食べれるようになったのと点滴が取れたこと。

17:00 鍼灸治療 27 診目

今日は足を温めておきました。

脈診：脾滑、腎弦

☆治療部位

<毫鍼>右上巨虚、右太溪、右三陰交、右八風穴、右太溪

<円皮鍼>右八風穴、右大都

レスキュー使用回数：30mg×5回

8月9日

15:00 今日は鍼の先生が来てくれるんです。

気持ちいい。もっとして欲しいくらい。

16:00 鍼灸治療 28 診目

浮腫は温めても変わらなかったから、今日は温めてません

脈診：脾滑、腎弦

☆治療部位

<毫鍼>右外関、右足三里、左膝関、右三陰交左太溪、右八風穴

<円皮鍼>右八風穴

レスキュー使用回数：30mg×5回

8月10日 レスキュー使用回数：30mg×6回

8月11日

20:00 予防的に使用。夜は予防的に使用している。回数が増える

レスキュー使用回数：30mg×8回

8月12日

21:00 点滴ないとやっぱり不安ですね。

レスキュー使用回数：30mg×5回

8月13日

17:30 昨日と比べ青白い印象。低カリウムにより点滴する。

17:35 鍼灸治療 29 診目

うん。気持ちいい…

脈診：脾洪、肝腎弦

☆治療部位

<毫鍼>右膝関、太溪、左三陰交

<鍣鍼>八風穴

<円皮鍼>太溪、右大都、左太衝

レスキュー使用回数：30mg×6回

8月14日

17:30 鍼灸治療 30 診目

【妻】昨日の夕方は足が痛かったみたいですけど、今日は

そうでもないね。【本人】うん。痛いつて感じはない

脈診：腎無力、虚

☆治療部位

<毫鍼>右外関、右三陰交、復溜、右膝関、右八風穴

<円皮鍼>太溪、右外関、右八風穴、右脾俞

レスキュー使用回数：30mg×6回

8月15日

7:30 一昨日より昨日、昨日より今日と少しずつシャッキっとし  
てきます。

18:00 鍼灸治療 31 診目

主治医に言えなかったけど、右足がパンパンに痛い。

☆治療部位



<毫鍼>右膝関、右太溪、右三陰交

<円皮鍼>右漏谷、右圧痛部

レスキュー使用回数：30mg×6回

8月16日

15:30 鍼灸治療 32 診目

ん…痛いね。触れた時と、体重かかると痛い。

脈診：肝渋、腎無力、細

☆治療部位

<毫鍼>右足三里、太溪、膝関、右三陰交、右八風穴

<円皮鍼>太溪、右三陰交、右外関、右脾俞

レスキュー使用回数：30mg×6回

8月17日

9:30 右下腿に痛みあり。歩行できない。

20:00 血栓の可能性ありと説明する。

レスキュー使用回数：30mg×4回

8月18日

3:00 2:30くらいから嘔される。血栓の可能性を聞いてから気落ちしている。

レスキュー使用回数：30mg×5回

8月19日

21:30 下腿痛は継続しているが、軽減することもあり。

レスキュー使用回数：30mg×3回

8月20日

17:30 鍼灸治療 33 診目

声かけするも入眠。

☆治療部位

<毫鍼>左膝関、左三陰交、右公孫、右内庭、右外内庭、右侠溪

<円皮鍼>太溪

レスキュー使用回数：30mg×2回

8月21日

15:00 室内トイレで、排尿しだすと疼痛が増強

19:00 鍼灸治療 34 診目

今日はお腹痛かった。トイレに行くとギューっと痛かった。

脈診：脾渋、腎無力、細

☆治療部位

<毫鍼>右外関、左三陰交、右太溪、右太白、右八風穴

<円皮鍼>太溪、左行間、左三陰交

レスキュー使用回数：オキシドール塩酸塩水和物散 30mg×3回

フェンタニル 2.1ml/h 7回

8月22日

18:30 鍼灸治療 35 診目

下腿の痛み軽減傾向。鍼灸治療と同時に入眠。

膝下～足背まで浮腫はやや軽快、足背浮腫は悪化

☆治療部位

<毫鍼>膝関、右太衝、右太溪、左三陰交

レスキュー使用回数：フェンタニル 2.1ml/h 11回

8月23日

1:30 トイレで転倒

8:00 何もかもいやだ。こんなんやったら早く楽になりたい。

17:00 鍼灸治療 36 診目

…トイレで転んでしまった。

脈診：虚、細、無力

触診：身体全体冷えが強い

☆治療部位

<毫鍼>右膝関

<e-Q>陽池、太溪、右太衝、陷谷、外陷谷、地五会

<円皮鍼>右照海

17:30 食事中、笑顔がみられる

レスキュー使用回数：フェンタニル 2.1ml/h×10回

フェンタニル 3.0ml/h×5回

8月24日

12:30 食べたらお腹が痛くなりました

レスキュー使用回数：フェンタニル 3.0ml/h×8回

8月25日

レスキュー使用回数：フェンタニル 3.0ml/h×7回

フェンタニル 3.5ml/h×7回

8月26日

3:30 効いてないわけではない…

11:00 いつもゼリーも全部食べるけど、今日は胸が詰まる感じで、食べれませんでした。

レスキュー使用回数：フェンタニル 3.5ml/h×10回

フェンタニル 4.0ml/h×11回

8月27日

12:00 ドルミカム開始

17:30 ……。

脈診：散、132回/分

☆治療部位

<腧鍼>太溪、公孫、脾・腎経、八風穴

8月28日 著変なし

8月29日 逝去

### 【評価ポイント】

- VAS、NRS 等による評価  
評価とれる状況ではなかった。
- 患者コメント  
3 診目：鍼？ちょっと怖かったけど、もう少し、早くにお願いしたらよかったかな。チクッとするけど気持ちいい。足の痛みに特に効いていると思う。  
9 診目：今まではかなり早送りの回数多かったが、この頃減少。  
14 診目：鍼は気持ちいいし、してもらってよかった。
- 家族コメント  
5 診目後：鍼をしてもらっている間は楽そうでしたが、それもしばらくだけで。
- 医師・看護師・医療スタッフの印象  
鍼灸治療を受けている間だけ、楽そうな表情している印象があり

### 【総括】

本症例は虫垂癌による癌性疼痛に対して鍼灸治療を行った。鍼灸治療介入前の状態では、苦痛表情を見せることが多かったが、鍼灸治療中～1 時間程度の短い間は気持ちよさそうに表情も穏やかになり、時折笑顔を見せながら会話をする様子が見られた。

患者コメントから「鍼灸治療は気持ちがいい」とターミナル中期～後期でも鍼灸治療を希望されていたこと、また、鍼灸治療持続効果はあまり望めなかったが、短い時間であっても患者の苦痛が消失していたことから右大腿部痛および腹痛に対しての鍼灸治療効果は有効だったと考えられた。

20130009 (NO. 59)

【患者】67 歳、男性

【既往歴】胃潰瘍（胃部分切除）

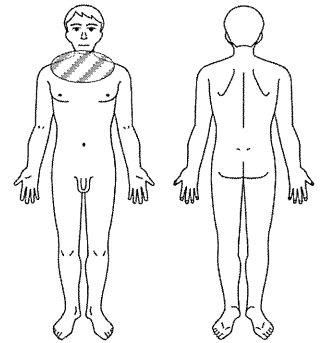
【病態】再発なし

【ターミナル期】なし

### 【現病歴】

X 年 4 月、作業中に 2m の高さから転落。  
腰を強打し、両下腿のしびれがあったため、本院整形外科に入院となった。

入院後、嘔気・ムカつき症状が出現し、食欲低下となった。内服にてムカつき止めを処方するが、「効果がない」とのこと。胃カメラ等の検査を行うが、器質的原因が見つからないため、内科医より鍼灸治療介入の依頼があった。



### 【服薬状況】

メトクロプラミド  
プレガバリン  
ロフラゼブ酸エチル

### 【鍼灸治療目的】

服薬するが症状緩和が認められない嘔気、ムカつきに対して依頼された。

### 【東洋医学的所見】

脈診：胃滑、腎無力。触診：胸脇苦満（R<L）、臍周囲ソフト、下腹部軟弱、左足三里緊張、太溪硬結（R<L）、左足陽明経熱感。望診：皮膚黒く（太溪に色素沈着あり）・剥落あり（足の指、踝周囲など）。嘔気あり。

【弁証】肝胃不和

【鍼灸介入期間】8 日間

【鍼灸治療回数】4 回/週、6 回

【転帰】退院

【鍼灸治療最終日～転帰】1 日間

【評価】評価説明するが理解が得られなかったため、医療スタッフによる印象評価をカルテから抜粋し、評価とした。

### 【鍼灸治療最終評価】

1)嘔気：著効

【治療経過】

17:00 今日はムカムカする。  
朝からの嘔気継続にて水以外は摂取していない。

18:30 リハビリは順調らしいけど吐いた時凄くしんどい。  
とにかくこのムカつきをどうにかしてくれ。

6月28日

14:00 今日はすごく気分が悪い吐いたし薬の量がふえた。

17:30 鍼灸治療 1 診目  
ゲップもでるし、ムカつきも…。会話中嘔気あり

脈診：胃滑、腎無力  
触診：胸脇苦満 (R<L)、臍周囲ソフト、下腹部軟弱、左足三里緊張、  
太溪硬結 (R<L)、左足陽明熱感  
望診：皮膚黒く (太溪に色素沈着あり)・剥落あり (足の指、踝周囲  
など)

☆治療部位  
<毫鍼>左足三里、左太溪  
<鍡鍼>行間、内庭、外内庭、俠溪

19:00 ムカムカしとると、言われるが、嘔吐はない様子

6月29日

15:30 シュークリーム1個とアラレを少し食べた。  
20:00 夕食半分程度摂取できており、嘔気軽減している。

6月30日

15:00 14時の昼食摂取後、訪室するも嘔気なく経過。  
20:30 ムカムカして。あかんわ。嘔気継続にて夕食摂取できず。

7月1日

13:00 朝は調子いいけど、夜はあかん

7月2日

13:00 メトクロプラミド飲んででも変わらん。リハビリ室まで行く  
のは早いけど、売店のところで「ここまでが限界や！」と病  
室に戻られようとする。

17:30 鍼灸治療 2 診目  
あんまり変わってないかなあ

脈診：脾微弦、肝無力、腎無力  
舌診：紅、中央白黄膩苔、胖大、嫩舌  
触診：右内関圧痛、左気戸圧痛、右足三里緊張圧痛、太溪緊張圧痛

☆治療部位  
<毫鍼>左気戸、右足三里、右内関、右太溪

7月3日

10:30 ムカつき、気持ち悪さはない

17:30 鍼灸治療 3 診目  
ゲップもムカつきも前より減ってきた。うん。

脈診：脾滑、腎無力、肝無力  
舌診：紅、舌尖紅、白膩苔  
触診：右公孫緊張、太溪軟弱陷凹、足三里緊張 (R<L)

☆治療部位  
<毫鍼>左内関、左足三里、太溪、左気戸  
<毫鍼による接触鍼>右公孫

7月4日

9:00 朝食の粥7割摂取可能  
17:30 鍼灸治療 4 診目  
もう、ゲップも、吐き気もないです。今日ね、ご飯食べ  
ました。

脈診：脾滑、腎無力

☆治療部位  
<毫鍼>右足三里、太溪、右公孫  
<円皮鍼>右足三里、太溪、左気戸

7月5日

11:00 鍼してもらってから、吐き気もゲップもなくなった。ここ  
2~3日楽になって。何か食べたい気分。レストラン連れて  
行って。  
15:30 ほとんど食べた。エビフライと大根のやつ、カレーも食べ  
れたわ  
18:00 鍼灸治療 5 診目  
今日、レストラン行って食べてこられたし、ゲップもムカ  
つきもないで。

脈診：脾滑、腎無力  
舌診：紅舌、白膩苔 (舌中)、舌下静脈怒張  
触診：太溪軟弱・陷凹、足三里の緊張が緩和している。

☆治療部位  
<毫鍼>右三陰交、左太溪  
<鍡鍼>行間、<留置鍼>右外関、太溪

7月6日

10:00 昨日レストラン行ってきた。嘔気、嘔吐はない。  
15:30 今日はフラーとする。眠い。座っていても後ろに倒れそう。

7月7日

11:30 今日はあかんわ。だるいわ。今日は夜も食べれそうにない。  
本日からプレガバリン、ロフラゼブ酸エチル中止する。  
21:00 昨日はしんどかった。一昨日は調子よかったからたくさん  
食べれて、この調子だったら大丈夫と思っていたのだけど  
昨日みたいになると思うと怖くていけない。

7月8日

16:30 朝こけたんや。びっくりした。足は痛いことはない。ベッ

ドで寝てたら大丈夫。ムカムカすることはないけど、しんどい。

7月9日

18:00 鍼灸治療 6診目

金曜（7月5日）の反動で、土日にしんどくなって、それから食べられない。もう、怖くて食事したくない。

嘔気はない。

脈診：腎弦、脾無力・微弦

触診：右公孫緊張、右外関緊張

☆治療部位

<毫鍼>太溪、右公孫、右外関、右三陰交

<円皮鍼>左気戸、太溪、右公孫

#### 【評価ポイント】

- VAS、NRS 等による評価  
説明するも「難しい」とのことで、VAS/NRS 評価は使用しない
- 患者コメント  
3診目：ゲップもムカつきも前より減ってきた。  
4診目：  
\*もう、ゲップも、吐き気もないです。今日ね、ご飯食べれた。  
\*鍼してもらってから、吐き気もゲップもなくなった。ここ2~3日楽になって。何か食べたい気分。レストラン連れて行って。  
\*ほとんど食べた。エビフライと大根のやつ、カレーも食べた  
5診目：今日、レストラン行って食べてこられたし、ゲップもムカつきもないで。
- 家族コメント  
特記なし
- 医師・看護師・医療スタッフの印象  
1診後：夕食半分程度摂取できており、嘔気軽減しているよう。  
1診+1日：14時の昼食摂取後、訪室時、嘔気なく過ごしている。

#### 【総括】

1診目後より食事の5割摂取するも、嘔気および嘔気は軽快傾向であった。4診目後には完全に症状が消失したことで、レストランに行き、海老フライ、カレーを摂取できるほどまでいった。しかし、急に大量に摂取したことにより、2日後より強い嘔気と倦怠感を訴える。続けて、転倒するなど加わり、精神的に食事に対する恐怖を抱くなるようになってしまった。今回、嘔気に対しては鍼灸治療は有効であったが、症状改善したと言って、胃に負担になるものを食べないように患者指導も必要であった症例であったと考える。

20130010 (NO. 60)

【患者】84歳、男性

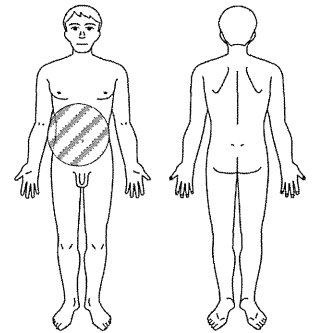
【既往歴】心筋梗塞、慢性心不全、糖尿病、冠状動脈バイパス術後、気管支喘息、肺炎治療後

【病態】肺癌

【ターミナル期】ターミナル前期

#### 【現病歴】

肺癌にて消化器内科で2012/11/15より、化学療法開始（GEM単剤、2投1休）X年6月からGEM13コース終了。その後、肺炎を発症したため4月末~5月まで入院に至った。今回、腹水出現（腹膜播種？）、食欲低下、倦怠感著明、低栄養状態にて、全身状態悪化傾向であった。しかし、化学療法時のステロイドの影響か、一時的楽になるという事で治療を継続していた。6月末から便秘、食欲低下、倦怠感、呼吸困難あり、緊急搬送となった。



#### 【服薬状況】

アセトアミノフェン、センソシド、フェンタニルクエン酸塩

#### 【鍼灸治療目的】

排便コントロールおよび腹膜播種による癌性疼痛に対して依頼された。

#### 【東洋医学的所見】

胸脇苦満、両足陽明経緊張、腎経軟弱、軽度認知症あり。

脈診：腎無力、脾滑。足背冷え・浮腫

【弁証】肝脾不和、腎陽虚、気滞・血瘀

【鍼灸介入期間】14日間

【鍼灸治療回数】4回/週、7回

【転帰】中止（のちに逝去）

【鍼灸最終日~転帰】47日間

【評価】評価説明するが理解が得られなかったため、医療スタッフによる印象評価をカルテから抜粋し、評価とした。

#### 【鍼灸治療最終評価】

- 1) 整腸：有効
- 2) 腹痛：有効

【治療経過】

7月4日

4:30 腹痛 NRS=3~4。アセトアミノフェン1錠使用。

17:30 鍼灸治療1診目

目的：排便コントロール

ズーンとして気持ちいい。これなら続けられそう。

脈診：腎無力、脾滑

触診：足背冷え・浮腫

☆治療部位

<毫鍼>右足三里、太溪、右外関

<円皮鍼>右外関

21:00 下痢しとる。センノシドスキップする。

7月5日

16:00 便は大丈夫や。1回しか出てない。

17:00 鍼灸治療2診目

鍼してから調子ええように思う。分離している感じがする。この辺（腹部）がグシャグシャなつとるんや、その痛みが分離しとる感じがする。（痛みが薄くなった感じなんですか？）そうや。痛みが薄くなった感じ。

脈診：腎・脾弦

舌診：紅舌、瘀点、舌尖紅、舌下静脈怒張

触診：右足三里緊張、右外関深部硬結

☆治療部位

<毫鍼>右足三里、右外関、太溪、左三陰交

<円皮鍼>太溪、右外関

20:00 鍼してもらってから調子ええ。便は固まってきた。

レスキュー使用回数：0回

7月6日

19:30 痛くないけど、痛くなったらかんし飲んどく。

23:00 今日鍼ないんか？夜に来てくれたんや。言動注意。

レスキュー使用回数：2回

7月7日

11:30 便の調子が悪いんや。軟便続いていることに不安

レスキュー使用回数：1回

7月8日

14:00 腹がしんどい。痛みもある。腹部の張りを訴える。(NRS=8)

レスキュー使用回数：1回

7月9日

13:00 素麺食べ始めたたら、痛くなり始めて (NRS=5)、今はもっと痛くなった (NRS=7)。

17:30 鍼灸治療3診目

何やちょっと日曜からお腹の調子がえらかったんや。

脈診：脾・腎弦、腎無力

触診：足背浮腫。左地五会圧痛、左内関緊張

☆治療部位

<毫鍼>左復溜、右三陰交、右行間、左地五会、左内関

<円皮鍼>太溪、右行間

<e-Q>足三里、太溪

レスキュー使用回数：1回

7月10日

17:30 鍼灸治療4診目

排便の話をする、「そんなことはええやないか」と話を逸らされる。

脈診：脾滑、腎微弦、細

触診：足三里緊張 (R>L) 圧痛 (R<L)

☆治療部位

<毫鍼>足三里、左復溜

<円皮鍼>右内庭、右外内庭、右俠溪、左太溪

レスキュー使用回数：2回

7月11日

16:00 あーしんどい。色々言われるとしんどい。

16:30 鍼灸治療5診目

薬飲んだ後やけど、また（鍼は）違う感じやな。

脈診：肝・腎無力、脾洪

触診：胃経緊張、太溪軟弱、右太衝軟弱、胸脇部緊張。

☆治療部位

<毫鍼>足三里、右太衝、右太溪、右三陰交

<鍍鍼>腹部

18:00 オキシコドン塩酸塩水和物散 5mg

フェンタニルクエン酸塩 2mg に UP

レスキュー使用回数：2回

7月12日

14:00 今日は痛みないし、気持ちええ。

17:00 鍼灸治療6診目

今は痛みない。

脈診：腎無力、脾弦

触診：足三里緊張、足背浮腫軽減

☆治療部位

<毫鍼>足三里

<鍍鍼>腹部

レスキュー使用回数：1回

7月13日 レスキュー使用回数：0回

7月14日 レスキュー使用回数：0回

7月15日

8:30 痛いから痛み止めをもってきてくれ!!

レスキュー使用回数：2回

7月16日

10:00 便は出とらん、でもこれでいいんや!!

17:30 鍼灸治療7診目

もうええんと違う? (何がですか?) もう1週間も鍼しとるし、もう終わりにしてもらってもええんちゃう!? イライラした様子が見受けられる。

脈診：脾洪

☆治療部位

<毫鍼>右足三里、左太溪、右外関

患者希望により、鍼治療介入終了とする

7月17日

11:00 自然排便あり

7月18日

13:00 疼痛の訴えはない

7月19日

9:00 だんだん痛くなる。腹痛の訴えあり

レスキュー使用回数：1回

7月20日

12:00 疼痛の訴えあり

レスキュー使用回数：1回

7月21日

10:30 シワシワ痛くなる。今は痛くないけど…。

レスキュー使用回数：3回

#### 【評価ポイント】

- VAS、NRS 等による評価  
認知症もあり、VAS、NRS、FS の説明をするも理解得られなかったため、患者コメントおよびレスキュー使用回数から評価する。
- 患者コメント  
2診目：鍼してから調子ええように思う。分離している感じがする。この辺（腹部）がグシャグシャなつとるんや、その痛みが分離しとる感じがする。（痛みが薄くなった感じなんですか？）そうや。痛みが薄くなった感じ。
- 家族コメント 特記なし
- 医師・看護師・医療スタッフの印象 特記なし

#### 【総括】

本症例は排便コントロールのため、鍼治療介入した。介入前、便がでない場合は下剤服薬させていたが、介入後からは服薬なく、普通便～軟便にて排便コントロールできたことから、有効と診断した。それ以外には、腹膜播種に伴う、癌性疼痛が緩和されたことから腹膜播種による痛みに対し、有効であると言える。長期入院によるストレスによる影響か、認知症悪化によるものか不明ではあるが、攻撃的な強い口調にて鍼灸治療の終了を希望されたため、中止となった。

【患者】67歳、男性

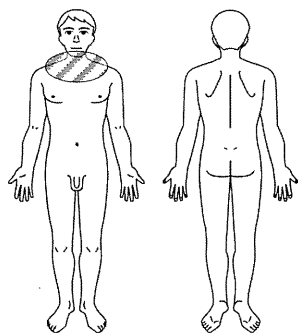
【既往歴】胃潰瘍 3/4 切除

【病態】食欲不振

【ターミナル期】特記なし

【現病歴】

X年4月末、作業中に2mの高さから転落。腰を強打。両下腿のしびれがあり、本院整形外科に入院となった。入院後、嘔気・ムカつき症状が出現し、食欲低下となった。内服にてムカつき止めを出すも、「効果ない」と。胃カメラ等を行うも、器質的原因が見つからないため、内科医より鍼灸治療介入の依頼があった。6月28日～7月5日まで嘔気に対して治療を行っていた。嘔気は改善し、食べ過ぎによる嘔気に伴い、食欲低下が認められたため治療目的を変更した。



【服薬状況】

服薬なし

【鍼灸治療目的】

精神的緩和（イライラ）を目的に継続依頼された。

【東洋医学的所見】

るいそう。脈診：脾滑、肝・腎無力、舌診：紅舌、舌尖紅、白苔（舌中のみ膩苔）。右公孫緊張、左太溪軟弱、右内関緊張圧痛、左太衝軟弱。

【弁証】肝脾不和、腎気虚

【鍼灸介入期間】52日間

【鍼灸治療回数】4回/週、23回

【転帰】退院

【鍼灸治療最終日～転帰】1日間

【評価】評価説明するが理解が得られなかったため、医療スタッフによる印象評価をカルテから抜粋し、評価とした。

【鍼灸治療最終評価】

1) 食欲増進（精神的不安感）：やや有効

【治療経過】

7月10日

13:30 嘔気は消失しているが食思は全くない。朝・昼ともに摂取されず。

17:00 鍼灸治療 1 診目

食べたいという気にもならん。お腹もすかない。夜も眠れていない。

脈診：脾滑、肝・腎無力

舌診：紅舌、舌尖紅、白苔（舌中のみ膩苔）

触診：右公孫緊張、左太溪軟弱、右内関緊張圧痛、左太衝軟弱。

☆治療部位

〈毫鍼〉右公孫、左太溪、右三陰交、右内関、左太衝

〈円皮鍼〉左太溪、右内関、左気戸、右三陰交

7月11日

10:00 食思なく、クッキー、キャラメルを食べている。嘔気はない。

17:00 鍼灸治療 2 診目

いつもの事。食べたいと思わない。お風呂にはいったらちよつと疲れた。

脈診：腎無力、脾微弦

触診：左足三里表面軟弱・深部緊張、右公孫緊張、左気戸圧痛

☆治療部位

〈毫鍼〉左足三里、右公孫、右三陰交

〈円皮鍼〉陽池、左気戸、右三陰交

7月12日

10:00 クッキー一枚だけ食べれた。

15:00 うどんの汁がまずい。食べたらムカムカする。2口食べた。

17:30 鍼灸治療 3 診目

何でも食べたいが食べられない。アイスは好き。

脈診：腎・肝虚、脾やや渋

触診：左内関軟弱、左足三里緊張

☆治療部位

〈毫鍼〉左足三里、太溪、右合谷、左外関

〈鍣鍼〉右公孫

〈円皮鍼〉左気戸、左内関

7月13日

12:00 嘔吐しているというが、ガーグルベース使用している様子はない。吐くことを恐れて食べていない？

7月14日

15:00 吸水を勧めたところ、「飲んだ」と言われ飲んだ形跡はない。

7月15日

12:00 3日間眠れていないと訴える。

7月16日

15:30 食事してもらうため、スタッフ1時間監視する。

17:30 鍼灸治療4診目

昨日から監視付きってかなんわー。お風呂にはいろいろかどうしようか悩んだ時にムカムカしたくらい。嘔気なし。

脈診：脾弦、腎無力・微弦

触診：左気戸圧痛、右足三里表面緊張軟弱、太溪表面軟弱深部硬結、右公孫緊張

☆治療部位

<毫鍼>左外関、右足三里、太溪

<鍡鍼>右公孫

<円皮鍼>左気戸、太溪、右足三里、右内関

19:30 お粥10口食べる。

7月17日

17:00 鍼灸治療5診目

ムカつきはない。夜は眠れていない。昼はウトウトしているくらいで寝ていないと言われるが、夕方、訪室すると入眠している。

脈診：細、沈、脾腎弦

舌診：紅舌、舌下静脈怒張、舌尖紅

触診：右足三里緊張、右公孫緊張、太溪陷凹、右外関緊張、冷えあり。

☆治療部位

<毫鍼>右外関、右足三里、右公孫

<e-Q>足三里、太溪、三陰交、外関

21:00 排便なし。排ガスあり。お腹が張ってえらい。

7月18日

13:30 全てについて、やるきなし。入浴一連動作は全て自立であり安定している。

17:30 鍼灸治療6診目

昨夜のカルテ記載に「お腹が張ってえらい」とあり、確認すると、昨日お腹張った感じないと。昨夜は少し眠れ、食後のムカつきもなし。

脈診：無力、脾弦、腎微弦、細

触診：右足三里緊張、右外関緊張、右公孫緊張、足の冷えは昨日より軽減

☆治療部位

<毫鍼>右外関、右上巨虚

<e-Q>左太衝、足三里、公孫、外関

7月19日

15:00 トイレ後のお尻を拭くことも、看護師を呼ぶようになる。自分でできることも他人に依存してきている。

15:30 鍼灸治療7診目

冷えは軽減。食事もクッキー、キャラメルは摂取できたがそれ以外はできず。夜間は少し眠れた。

脈診：腎・肝無力、細、脾滑

触診：下腿冷え改善。右神門軟弱、右公孫表面緊張

☆治療部位

<毫鍼>右神門、右公孫

<e-Q>太溪、足三里

<円皮鍼>右神門、太溪

7月20日

18:00 嘔気があり、しんどさもあるだろうが、食事を10口食べるという事も守れていない。

7月21日

12:00 10口食べた後、もう一口と勧めると沈黙

7月22日

16:30 今後摂取増量に向けて10~15口にできないかときいても返事なし。

7月23日

17:30 鍼灸治療8診目

同じくらいだけど、食事は少し増えたと思う。

脈診：脾微弦、腎無力

舌診：紅舌、脾大、舌中乾燥、厚苔

触診：内関圧痛

☆治療部位

<毫鍼>右公孫、左内関

<e-Q>足三里、陰陵泉

<鍡鍼>右太溪

<円皮鍼>太溪

7月24日

12:00 粥10口から15口に。補助食のジュース。バナナも摂取している。無理強いすると臍を曲げるのではない。

16:30 鍼灸治療9診目

今日はずっとムカムカしてゲップでる。しんどい。治療中は1回も嘔気なし。

脈診：虚、脾弦、腎無力

触診：右足三里緊張圧痛、右公孫緊張、左気戸軟弱圧痛

☆治療部位

<毫鍼>右外関、右足三里、右三陰交、左行間



<鍹鍼>右公孫、太溪

<円皮鍼>左気戸、左行間

7月25日

17:30 鍼灸治療 10 診目

ゲップがあるないに関わらず食事できない。昨日よりはマシな気がする。

脈診：脾滑、腎弦

☆治療部位

<毫鍼>左気戸、足三里、右太溪、右公孫

<円皮鍼>左気戸、左陥谷、左外陥谷、右内関

7月26日

16:30 鍼灸治療 11 診目

訪室時、3回嘔気あり、治療中は1回もない。

脈診：腎弦、脾滑

触診：足三里緊張、左太衝、右太溪軟弱、右公孫緊張

☆治療部位

<毫鍼>足三里、左太衝

<鍹鍼>右公孫

<円皮鍼>左太溪、左行間、右外関

7月27日

16:00 吐いたというが、ガーグルベース使用した形跡はなし。

7月28日

10:00 リハビリでは何も持たずに歩けるが、何故か病棟では車いす移動している。

7月29日

19:00 口にに入れて吐くといった行動を繰り返している。

7月30日

12:00 不満を大きい声で言いながら、粥を8割摂取する。

17:00 鍼灸治療 12 診目

かわらん。

脈診：胃・腎弦

触診：右不容圧痛、右気戸圧痛

☆治療部位

<毫鍼>右気戸、右不容、右足三里、左復溜

<円皮鍼>右衝陽、右不容

7月31日

11:00 鍼灸師には看護師に言えない事を言っている。

17:00 鍼灸治療 13 診目

かわらん。(お通じどうですか?) 昨日か一昨日くらいに出たんと違う?

脈診：腎無力、脾弦

触診：右足三里緊張、右公孫緊張

☆治療部位

<毫鍼>右太衝、右公孫

8月1日

17:00 鍼灸治療 14 診目

あ、うん。あんまり変わらん。時折、こちらに視線を向けるが、何か言われるわけではない。

脈診：腎無力、肝弦

触診：左気戸圧痛、左足三里緊張、右太溪軟弱、右俠溪深部緊張

☆治療部位

<毫鍼>右太溪、右不容、左太衝

<鍹鍼>右公孫

<円皮鍼>左気戸、右俠溪、右不容、左行間

8月2日

18:00 鍼灸治療 15 診目

食事の事になると聞こえないふりをし、それ以外の質問には「うん」と短い返事やこちらに顔を向ける。

脈診：虚、無力

☆治療部位

<毫鍼>右足三里、左不容、右外関、太溪

<円皮鍼>太溪、右不容、右外関

8月3日 特に変わりなく過ごされる。

8月4日

19:00 16時~22時まで悪心があると訴える。

8月5日

13:30 吐き気あるも8~9割お粥摂取できる。

8月6日

17:00 鍼灸治療 16 診目

台に八つ橋が置いてあり、1つ無いも「食べてない」と。

脈診：胃弦、脾洪、肝・腎無力

触診：右公孫緊張、右不容圧痛、右気戸圧痛

☆治療部位

<毫鍼>右気戸、右不容、右太溪、左太衝、右足三里、右公孫

<円皮鍼>右不容、右太溪

8月7日

17:00 鍼灸治療 17 診目

17時頃から嘔気が出てくる。

脈診：脾滑、腎弦

舌診：紅舌、舌尖紅、薄白苔(舌中厚苔)

☆治療部位

<毫鍼>右太溪、右足三里、右公孫、左太衝

<腧鍼>胸脇部

8月8日

17:00 鍼灸治療 18 診目

机に3本ジュースあり。毎食後についてきているものだが、朝昼とあと一本は？と尋ねると沈黙。

脈診：脾やや滑、腎無力

舌診：紅舌、舌尖紅

触診：右不容圧痛

☆治療部位

<毫鍼>右不容、右膝関、右太溪、右公孫

<腧鍼>胸脇部

8月9日

16:30 鍼灸治療 19 診目

怠い…全身怠い。

脈診：腎無力、弦、脾やや滑

☆治療部位

<e-Q>太溪、足三里、太衝、三陰交

<円皮鍼>右不容、右太溪

8月10日

15:30 朝と昼は大丈夫。夕方になると吐くんや。

8月11日 著変なし。

8月12日

13:00 娘と本人に経口摂取では限界ありと判断している。

8月13日

18:00 入眠中のため、鍼灸治療中止

19:00 夜はあかんわ

8月14日

14:00 アルジネート 8 割摂取

17:00 入眠中のため、鍼灸治療中止

8月15日

18:00 鍼灸治療 20 診目

点滴しとるから1時間おきにトイレ行くやろ？しんどいわ。

脈診：腎弦、細

☆治療部位

<毫鍼>右太溪、右公孫、左足三里

<円皮鍼>右太溪、右公孫

8月16日

14:00 泥状便あり

17:00 下痢のため鍼灸治療中止

8月17日

2:30 排尿、排便できているため、導尿カテーテルを行う

8月18日

12:30 栄養補助食（アルジネート）を摂取

8月19日 著変なく、過ごされている。

8月20日

16:30 入眠中のため、鍼灸治療中止

8月21日

17:00 鍼灸治療 21 診目

ムカつきある

脈診：脾洪、腎無力

☆治療部位

<毫鍼>右内関、左膝関、左太溪、右足三里、右三陰交

<円皮鍼>左気戸、右不容、左太溪

8月22日

18:00 鍼灸治療 22 診目

おう。ん？曖気なくテレビを観ている。

脈診：脾・腎弦

触診：四肢冷えあり。足三里緊張、右三陰交深部緊張

☆治療部位

<毫鍼>足三里、右三陰交

8月23日

14:00 昼は粥4割、栄養補助食（アルジネート）を5割摂取する。

8月24日～25日 著変なし

8月29日

17:00 鍼灸治療 23 診目

明日出ていくしよかったのに。

（最後にさせてもらってもよいですか？）うん。そうだね。

脈診：脾滑

触診：胃経緊張

☆治療部位

<毫鍼>足三里、復溜、右外関

8月30日 退院

【評価ポイント】

- VAS、NRS 等による評価  
評価とれないため、看護師による印象評価とする。
- 患者コメント  
特記なし
- 家族コメント  
特記なし
- 医師・看護師・医療スタッフの印象

食事を食べたというが、ゴミ箱に捨ててあることや、自分でできることもスタッフを呼ぶなど、精神的依存も強くなった。

#### 【総括】

前回、嘔気症状が改善した事により、カレーなど胃に負担のかかるものを食べた結果、嘔気が増した。食に対する恐怖心を抱いてしまった。食習慣に対する改善のために、スタッフによる食事時の見守りにより10口は最低食べるようになったものの、イライラは強い。

また、スタッフには「食べた」といい、実際にはゴミ箱に捨てられていた。入浴の際も自身で洗えていたが、「洗ってくれ」と言い、トイレでも「拭いてくれ」など強い依存が認められた。

このような依存的な症状に対しての鍼灸治療は非常に難しく、また食事量に変化がなかったため、鍼灸治療後は嘔気軽減が認められたため、やや有効と診断した。

20130012 (NO. 62)

【患者】75歳、男性

【既往歴】膀胱癌全摘(3/28)、膀胱癌再発(7/12)

【病態】膀胱癌再発

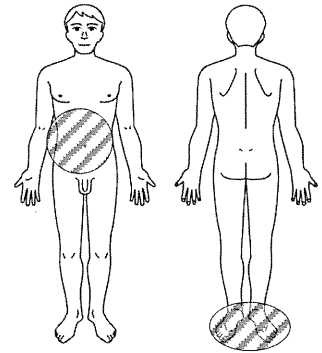
【ターミナル期】ターミナル前期

#### 【現病歴】

7月29日 再入院

前回退院後、2か月は順調に経過していたが、左下肢が全体に浮腫を起こし、夕方から晩にかけて、下腹部の違和感を訴えた。座位にて会陰部に痛みを訴える(NRS=4)。

画像所見にてCIS再発(骨盤内多発)と診断。抗がん剤シスプラチンを施行するため、再入院となった。



#### 【服薬状況】

エトドラク 2錠/分2 400mg

アセトアミノフェン(錠)3錠/分3 600mg、

頓服アセトアミノフェン(錠)1錠

レスキュー：オキシコドン塩酸塩水和物 2.5mg

#### 【鍼灸治療目的】

膀胱癌再発により、再入院となった。退院後もしびれは継続しており、入院時より軽度悪化が認められたため、足背しびれ、整腸に対し鍼灸治療を依頼された。

#### 【東洋医学的所見】

左足の裏は全部がしびれ、右足の裏は第1～3指がしびれる。17時頃から怠さが増悪する。脈診：沈、腎弦。触診：太溪陥凹、三陰交圧痛、右足三里緊張

【弁証】腎虚、気虚血虚、血瘀

【鍼灸介入期間】78日間

【鍼灸治療回数】4回/週、38回

【転帰】退院(再入院後、逝去)

【鍼灸治療最終日～転帰】4日間

【評価】Visual Analogue Scale(以下VAS)を使用した。その他、スタッフの印象評価と総合し、診断した。

【鍼灸治療最終評価】

- 1) 整腸：やや有効
- 2) 足背しびれ：著効

【治療経過】

7月29日

再入院。7月12日に膀胱摘出腔に再発をみとめる。

7月30日

11:00 エトドラク、アセトアミノフェン(錠)からオキシコドン塩酸塩(錠) 5mg2錠/分2。レスキューをアセトアミノフェン(錠)からオキシコドン塩酸塩水和物(散)2.5mgに変更する。

14:00 下腹部、会陰部につっぱり感あり。痛みはNRS=2程度。

レスキュー使用回数：0回

7月31日

7:30 オキシコドン塩酸塩(錠)飲んで21時~3時までよく眠れました。お尻の方はまだ痛いけど、今日は楽な日だと思う。

18:00 動注化学療法施行

(左内陰部動脈閉鎖動脈 CDDP50mg)

22:30 痛い時もあるけど、今はいたない。(NRS=)0か1。

8月1日

16:30 痛みは1くらい。時々お腹の膀胱あたりがキーンと痛くなるけど、それも(NRS=)2くらい

レスキュー使用回数：0回

8月2日

8:30 今は痛くないけど、日に日に下腹部が痛くなってる気がする。通じが出ていない(KOT:-3日)。

8月3日

7:00 寝ても、痛みなくなった。寝ていると(NRS=)0か1。動くとき痛いけど。

12:30 痛いのは痛いで。でもしびれも足の裏だけで、今日は足の裏の先の方だけになった。お腹もひねったら痛いくらい(NRS=1~2)。

8月4日

15:00 しびれも足先だけになってきたから、歩きやすい。

8月5日

19:30 食事ちょっとしか食べれなかった。胃が張ったようにつかえるんや。吐き気はない。痛みもない。トイレに行くとガスが出て、汁みみたいな便が出る。

レスキュー使用回数：0回

8月6日

9:00 足はマシだが、お腹が張る。

8月7日

17:00 左鎖骨下ポート増設

22:00 傷の痛みはない。お尻が痛くなってきたんや。

左下腹部 NRS=0、会陰 NRS=2~3 の痛み

8月8日

17:00 足の裏が両方ともしびれるようになって注射してマシになったと思ったけど、変わらなかった。

8月9日

17:00 鍼灸治療1診目

左足の裏は全部がしびれ、右足の裏は第1~3指がしびれます。17時頃から怠さが増悪する。

脈診：沈、腎弦

触診：太溪陥凹、三陰交圧痛、右足三里緊張

☆治療部位

<円皮鍼>左八風穴、三陰交、右太溪

21:00 夕食前に起きたらムカッとする感じがあった。

レスキュー使用回数：1回

8月10日

11:30 今日は調子がいい。下腹部の痛みも消えたんだ。

8月11日

8:30 今日は調子がええ。血圧も135~145くらい。

16:30 会陰部痛：NRS=1~2

左下腹部痛：NRS=0

体動時痛：NRS=0

しびれ：右 NRS=3、左 NRS=6

8月12日

17:00 味覚が出てきた。夕方からしんどくなるけど、今日は調子がいいわ。心窩部痛はガスが貯留した際にいたみがあり、本日はガス貯留が少ないため痛みも少ない。

8月13日

18:00 鍼灸治療2診目

しびれ変わらず。夕方からの倦怠感も楽に。

脈診：脾洪、腎弦。

しびれ：右 VAS=32mm、左 VAS=48mm

☆治療部位

<毫鍼>太溪、左八風穴、左三陰交

8月14日

18:00 会陰部痛：NRS=1

しびれ：右 NRS=3、左 NRS=6

疼痛コントロール良好。精神的にもやや安定。

18:00 鍼灸治療3診目

しびれというか、親指側(第一指)ところがツツパリ感が